

特別活動 「福祉委員会・手話クラブ」

横浜市立榎が丘小学校



単元（題材）目標

- 手話に親しむことを通して、聴覚障害者への理解を深め、様々な立場の人への理解にもつなげる。
- いろいろなコミュニケーションの方法を日常に取り入れられるようにする。

(1) 実施時期

通年

(2) 対象（学年等・人数）

中心となる委員会は5、6学年 クラブは4～6学年
対象は全校児童 630名（委員会から全校児童へ発信）

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

委員会、クラブ担当教諭

(4) 実施内容

- 児童の福祉委員会の活動として至近距離で挨拶がしにくい現状、コミュニケーションツールとして、手話を取り入れることを考え、全校で取り組みたいと呼びかけた。ポスターやテレビ朝会で紹介した。
- 手話クラブが今年初めて発足し、手話に興味を持った児童たちが集まり、生活の中に取り入れたいと、自分たちで調べるなどして活動した。

(5) 成果

- 福祉委員会の呼びかけに多くの児童が反応し、「おはよう」の挨拶を手話で交わしたり、いろいろな授業の中で「手話ではどう表現するのだろうか」と話題になったりして、興味・関心が広がっている。
- クラブ活動では、覚えた手話を使ってクイズを出し合ったり、歌を歌ったり、50音を覚えて、自己紹介をしあったりしていた。もっとたくさん覚えたいと、意欲を高めていた。

